



2月号

平成27年1月30日発行

荇田小だより

横浜市都筑区荇田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



火のぬくもり

校長 澤田 有子

冬真っ盛りの時季、火は私たちの身も心も温めてくれます。

でも、科学技術の発達に伴い生活が豊かになり、飢えたり冬の寒さに凍えたりすることが少なくなっている私たちの暮らしの中では、火を直接感じる機会は少なくなっています。

ギリシャ神話では、ゼウスをはじめ、神々の間では天地創造の力をもつ「神の焰」を未熟な存在である人類に渡すことは、禁忌となっているにもかかわらず、火を得ることで人類が幸せになると信じたプロメテウスが、天界の火を盗んで人類に与えたとされています。実際には、人間は山火事など自然発生した火が自分たちには有効であることに気づき、使い始めたのでしょ。ほとんどの動物は火を恐れますが、人間は、火の力を利用して食べ物を調理し、襲ってくる動物から身を守る手段としてきました。さらに、火を手に入れた人間は、それで暖をとるだけでなく、鉄を鋳て文明を享受しました。



<どんど焼きの火>

さて、子どもたちは、人類が生み出した科学技術の世界にいます。これから成長し、自分の未来を切り拓き、よりよく生きるためにはそれらを理解し、使えるようになる必要があるでしょう。でも、自然の中で生かされている存在であることを体感しながら実感することも、子どもたちの健やかな成長にとっては不可欠なことだと考えます。生きることの原点ではないでしょうか。何もしないと科学技術の世界に浸りっきりになってしまうことが多いであろう子どもたちに、意図的、計画的に自然体験ができる機会をつくっていききたいと思います。本校は、その機会を多くつくることのできる荇田のまちの小さな学校です。

作品展



何だか元気ができます！
ありがとうございます。

こんな感想をいただきました。

- 子どもたちの素晴らしい感性を感じることができました。のびのびとした気持ちが伝わってきました。
- 体育館が素敵な展示会場に変わっていて驚きました。どの作品も力作で、楽しく制作活動をしていたのでしょね。
- のびやかな作品ばかりで見ごたえがありました。
- どの作品も発想が豊かで楽しかったです。

○今までで一番温かみを感じた作品展でした。オルゴールCDが流れていたのがとてもよかったです。そのおかげだと思いますが一つ一つゆっくり見て歩きたくなりました。「ありがとう」などの文字アートもよかったです。

○ただ机の上に並べるのではなく、階段やいすを使ったり、糸で吊ったり、動物村らしいデコレーションで見ていて楽しかったです。子どもたちの創造力のすごさを改めて感じました。